

# No. 1358

## 優勝をめざして

—中日ドラゴンズ—

ナインの威勢のいいかけ声がこだまする。いよいよ球春の到来だ。中日ドラゴンズの一、二軍合同自主トレーニングが1月12日から本拠地のナゴヤ球場で行われている。昨年新人王に輝いた藤沢、今年もファンの期待を集め元気いっぱい。高木、木俣らベテラン組も村田コーチのもと若手に負けじと意気込みを見せる。内野のカナメはやはり高木。野手組は守備練習で久々のノックに汗を流す。優勝へのカギを握る若手投手陣、都、高橋、中田が早くも力を込めたピッチング。そのなかで今年も2ケタの勝星をねらう藤沢はゆっくりとマイペースで始動。名古屋市中村区にある合宿所。寒々とした室内練習場で若手選手の練習が続けられている。流れる汗もぬぐわず黙々と練習をする選手たち。そこには今季にかける決意のほどを伺わせる。若手選手の成長著しい中日、今年のペナントレースの活躍が期待される。

## 大平首相、大洋州歴訪へ

大洋州諸国との友好親善関係を深めるため、大平首相は1月15日、羽田を出発、オーストラリア、ニュージーランド、パプア・ニューギニアの三ヶ国を歴訪した。オーストラリアの首都、キャンベラでは首脳会議に先立ち、キャンベラの連邦議会前広場で公式歓迎式典が行なわれた。19発の礼砲がとどろく中、大平首相はフレーザー首相にともなわれて起立台へ。このあと、約100人の在留邦人に見送られてフレーザー首相と第一回目の会議へ。会議ではアフガニスタン、イランなど、国際情勢の分析や対応と大平首相の持論である環太平洋連帯構想の具体化が集中。オーストラリア側は「成熟と緊密の時代」に入ったと高く評価した。

会談が終って総理一行は戦争記念館へ。オーストラリアの公式訪問を終えた一行は次の訪問国ニュージーランドへ。快晴続きだったオーストラリアに比べ、時折小雨がぱらつき、気温も12度ぐらいの膚寒いオークランド。18日、マルドーン首相らニュージーランド首脳と会談。経済問題を中心に意見を交換した。羽田への帰途パプア・ニューギニアを非公式訪問、ソマレ首相と懇談。20日夜帰国した。

日本の主張する環太平洋構想に賛意を示した大洋州の国々、が一面では日本が資源・市場開発などで、新たな責任を負わされることにもなった。